



平成27年2月28日

日本 IFToMM 会議  
会員各位

日本 IFToMM 会議  
実行委員長  
北條 春夫

## 2015年度日本 IFToMM 会議シンポジウムおよび総会のお知らせ

日頃は日本 IFToMM 会議の運営にご尽力いただき、誠にありがとうございます。  
さて、2015年度のシンポジウムおよび総会を下記の予定で開催致します。万障お繰り合わせのうえ、ご出席くださいますよう、お願い申し上げます。

### ○ 2015年度日本 IFToMM 会議シンポジウムおよび総会

日 時： 平成27年7月18日（土）

会 場： 東京工業大学大岡山キャンパス石川台3号館304号室（工学系会議室）

予定行事： （講演件数により変動します）

- 1) シンポジウム： 9:00～17:00
- 2) 総 会： 17:10～17:40
- 3) 懇 親 会： 18:00～20:00

### ○ シンポジウムの詳細

#### 募集テーマ：

募集するテーマは例えば以下の通りです。もちろん本会の趣旨に合致すればこの限りではありません。新しい領域は大歓迎です。

- 運動機構： リンク機構，カム機構，歯車機構，伝動機構，減速機，超精密位置決め  
機械要素： 軸受，アクチュエータ，油空圧機器，弾性ヒンジ，トライボロジー，内燃機関  
ロボティクス： 移動ロボット，非ホロノミックロボット，パラレルマニピュレータ，  
ヒューマノイド，マイクロロボット  
医療・福祉機器： 手術ロボット，介助ロボット，人工義手，リハビリ機器，情緒交流，  
パワーアシスト機器  
振動の解析と制御： ロータダイナミクス，モード解析，振動と騒音の低減，非線形振動系  
計測と制御： センサ，自律分散制御，学習制御，群ロボットの制御  
その他：

#### **Young Investigator Fund Best Paper Award:**

2005年度より、シンポジウムのさらなる活性化を目指して、下記要領により、若手研究者・技術者の優秀講演論文を表彰します。奮ってご投稿ください。

**受賞資格：**シンポジウム講演論文における35歳以下（講演論文受付時）の筆頭著者の本会会員とします。（受賞後の入会も構いません）

**論文審査：**講演論文受理後、有識者からなる審査委員会の厳正な審査を経て、原則3件のFinalistを決定し、さらにその中からシンポジウム当日の講演発表の審査を経て、受賞者を決定します。

**贈賞件数：**Best Paper Award 1件を含むFinalist 3件。

**贈賞内容：**賞状、賞牌および賞品

**表彰式：**本シンポジウムの終了後に開催される2015年度総会にて表彰式を開催します。

日 程： 講演申し込み締め切り 平成27年4月10日（金）  
採択通知 平成27年4月17日（金）  
原稿提出締め切り 平成27年5月15日（金）

**講演申し込み時の情報：**

以下の情報を下記へ電子メールまたはFAXにてご連絡ください。

- (1) 著者（筆頭著者，連名者のフルネーム）名 **（和英併記）**
- (2) 講演者名
- (3) 講演者の生年月日（Young Investigator Awards 資格に該当する講演者）
- (4) 講演題目 **（和英併記）**
- (5) 著者連絡先（E-mail アドレス，電話，FAX）
- (6) 200字程度の概要

**講演申し込み先：**

日本 IFToMM 会議シンポジウム・総会担当  
〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1  
東京工業大学 大学院理工学研究科 機械物理工学専攻 岩附・岡田研究室内  
TEL: 03-5734-2538 FAX: 03-5734-3917  
E-mail: symposium@jc-iftomm.org (IFToMM 専用)  
WEB: <http://www.jc-iftomm.org/japanese/index.html>

**講演原稿の送付方法：**

本年度より，PDF 原稿を電子メールの添付ファイルでご送付いただきます。この際，機種依存のフォントは必ず埋め込んでください。送付先は講演申込みと同じで，下記電子メールアドレスに送付してください。

E-mail: symposium@jc-iftomm.org (IFToMM 専用)

皆様ご多忙とは存じますが，FAX または電子メールで結構ですので講演発表の申し込みをお待ちいたしております。

※気早ではありますが，シンポジウム原稿執筆要綱を同封いたしますので，ご活用ください。